

松浦アジフライおなじみの青いロゴとは違った、ひとときわ目を引くグリーンカラー！車体には「松浦アジフライを揚げた廃油で走る公用車を指す」と、ある。つまり、「松浦市は、松浦アジフライを揚げた廃油を再利用し、松浦の未来のためにバイオ燃料で走る公用車を率先して導入しながら、環境にやさしいまちを目指します」という、SDGs宣言というわけだ。

この素晴らしい取り組みをサポートするのが、隣接する平戸市の企業『鶴丸設備』。1989年に創業、浄化槽の保守点検・清掃業を生業としてきた。その後、地球温暖化防止・環境問題解決・循環型社会構築のため、バイオディーゼル製造販売業を営んでいた『ビックコーポレーション』と合併。その代表だった上田博之さん（現鶴丸設備取締役）に就任は、いち早くアジフライの聖地松浦の「廃油」に反応した人だ。

「松浦アジフライの廃油を私たちの技術で純度の高いバイオ燃料に精製し、軽油の代わりに使える燃料に生まれ変わらせているのです」と、上田さん。驚くのはそれが日本一の高純度燃料ということだ。「半年前、純度99.95ウェイトパーセントという数字を記録しました。これは軽油よりきれいな油であることを示しています」。上田さんは続ける。「今後、炭素税など地方の暮らしや企業活動が直面する問題は山積み。私たちは環境にいいものを安く提供することで、困っている人や企業を助け、(田舎でも働きやすい環境)をつくりたいのです。それが松浦をはじめ、まちの定住促進にも自然環境を守ることにつながるからです。松浦アジフライがまちの未来にも環境問題にも役立つということだ。市境を越えて広がる輪、ECO×松浦の未来がさらに広がってゆくだろう。

Ajifry × SDGs

松浦アジフライで、“車”が走る?!

松浦アジフライ、“市境”を超える②
長崎・平戸からラブコール!

海をキレイにする油に変えます!



鶴丸設備 取締役
上田博之さん



松浦アジフライの連携店から月一回、廃油を回収。

精製後の違いは目にも明らか! 海も空もきれいになっていくはずだ。

ガスレンジや換気扇、シンクや排水口の掃除などに使える海にやさしいバイオ洗剤〈グリット〉500ml(250円)も開発。海を汚す界面活性剤ゼロ! 廃油をバイオ燃料に精製する際、出てくるのがグリセリンだが、それを捨てずにこの洗剤に! 松浦アジフライを揚げた廃油と引き換えにこれを協力店舗に渡せば、海がきれいになり、店側も廃油の処理に困らず、店もピカピカに。好循環! 販売協力店ほか企業等とのタイアップOK! ただし現在、一般販売は本社(平戸市)までご来社の方のみに対応。

松浦市と一緒に松浦アジフライの廃油再利用を支えてくれる鶴丸設備の上田博之さん。市は現在、公用車(ディーゼル車)へのバイオ燃料導入を検討しており、世界平和を願う『松浦アジフライ憲章』第8条(P24参照)がますます現実味を帯びてきた!

*車はそのコンセプトカーとして撮影したものだ。



聖地との
コラボデザインイメージ!